

(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001年度)
- ・「全学的一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003年度)
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA(class assistant)制度の導入(2015年度)
- ・2016年度入学生よりGPAを導入
- ・2020年度入学生よりGPAにより履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020年度入学生より履修制限外科目の見直し(経済学部:公務員特別クラス等)
- ・「授業公開デイ(保護者参観)」を実施(保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能)(2007年度)
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施(2021年度より)
- ・教職員による学修相談(2022年度前期より)
- ・学習成果の可視化を目的として、PROGテストを導入(2022年度より)

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度

2024年度 派遣2名・受入12名(中国2名・ベトナム3名・台湾2名・韓国1名)

- ・認定留学制度

2024年度 派遣1名(アメリカ)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国(地域)は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・2025/2/8～3/2 ニュージーランド・ワイカト大学 参加者2名(日本人1名)

<異文化理解>

- ・2024/9/3～9/6 マレーシアにて実施:参加者4名、引率教職員1名

<English Café>

- ・英語に興味はあるが自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこのEnglish Caféをキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。

2024年度 月曜日・水曜日・金曜日 12:30-15:30

延べ名参加 前期：967名 後期：851名

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、
南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、常熟理工学院、嘉興大学
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学
- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESC ブルターニュブレスト

<留学生支援部>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向かって進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援部が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2024年度）>

- ・第8回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：六甲バター株式会社の協力のもと「ベビーチーズをもっと若年層が手にとり（認知）、買って（購買）、食べ続けてもらう（習慣化）ためのアイデア」をメインテーマに開催。本学からは14チームが参加。フィールドワークでは、六甲バター 神戸工場を訪問し、チーズ作りの行程、生産者や消費者への思いを体感。フィールドワークやデータ収集・分析を通しターゲット層をまとめ、学生ならではの視点やマーケティング手法を活用し、各チームは具体的かつ実現性の高い、個性あふれる提案を実施。後藤こず恵准教授指導の有志チーム、【I♡チーズ】が準優勝。【チームミルクキー】（清水信年ゼミ）と【ハーモニックマイナースケール】（村上友章ゼミ）とが特別賞を受賞。

連携先：六甲バター株式会社

日程：2024年7月～2024年12月

参加状況：2大学（本学・兵庫県立大学）1高校（明石商業高等学校）、22チーム・90名（本学：14チーム・51名）

・2024年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要：経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、取り組みのなかで成長を遂げた学生の多様な実例を審査・表彰し、その実例の周知を目的に実施される『人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ』に本学から、昨年度に引き続き、長坂ゼミが参加。「商業×まちづくり 挑戦の現場」をテーマに、『須磨パティオとの社会共創活動』及び、『KIKKAKE PLACEでの飲食店経営』のプロジェクトについて紹介。取り組みを通して得た学びや成長を発表した。

連携先：一般社団法人社会人基礎力協議会

日程：2025年1月～2025年2月

参加状況：5名（長坂泰之ゼミ 3年生）

・KOBEBE2024世界パラ陸上競技選手権大会 弁当開発プロジェクト

概要：2023年度からの継続企画。本学の留学生を中心としたチームと甲南大学茶華道料理部道心会のメンバーが共同で、KOBEBE2024世界パラ陸上で販売する弁当を企画・開発。観客が大会をより楽しめるような食事を提供することを目的に、本学の留学生チームは、国際色豊かなワールド弁当を提案。今年度は開発した弁当の販売促進を兼ねて、大会のプロモーションを実施。また弁当の名称やパッケージデザインを検討した。

【弁当名称】 「ウィアーザ輪ルド弁当」

連携先：KOBEBE2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局（神戸市文化スポーツ局国際スポーツ室）、株式会社淡路屋

日程：2024年4月～2024年5月

参加状況：14名【個人エントリー】（商学部2年生・3年生・4年生、経済学部2年生・3年生、人間社会学部2年生）

・企業課題解決プログラム

概要：課題を抱えている大学コンソーシアムひょうご神戸の賛助会員企業・団体と加盟校のマッチングを行い、大学のゼミの専門性を活かして課題解決を提案するプログラム。本学からは柿沼ゼミ、関陽ゼミ、辻周吾ゼミが参加。各ゼミの活動は以下のとおり。

【柿沼ゼミ】 × 日本通運株式会社

物流の2024年問題や物流業界のネガティブなイメージ、ロゴ変更による“物流企業”としての認知不足のため、国内事業への“採用”に関する課題を抱える日本通運株式会社に対し、どういったブランディングやプロモーションであれば魅力的に感じるのか、現場見学や調査・分析を踏まえ、学生の視点で「採用ブランド力強化」の提案を実施。

【関（陽）ゼミ】 × 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター

「ITソリューション部門で、理系・情報系学生をターゲットとした新卒採用の強化」をメインテーマに、2回にわたるインターンシップでのエンジニアの仕事の実体験やアンケート調査を通して、企業の魅力を分析。学生目線のアイデアを盛り込みながら、オープンカンパニーの立案や新卒採用活動用の広報動画を制作した。

【辻（周）ゼミ】× 医療法人社団星晶会

現在、在留外国人が安全で安心して医療が受けられる体制作りが大きな課題となっている。外国人が安心して日本で受診、及び治療が受けられるように官公庁で使用している「やさしい日本語」を医療現場で普及させるための方法や、医療用語の「やさしい日本語」への変換を検討した。

連携先：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

日程：2024年4月～2025年3月

参加状況：45名（柿沼英樹ゼミ 3年生、関陽ゼミ 4年生・3年生、辻周吾ゼミ 3年生）

・BRANCH 神戸学園都市テナント会との連携企画

概要：地域住民と学生の交流を深め、地域の商業活性化を図ることを目的に、新ゼミが複合商業施設【BRANCH 神戸学園都市】と連携し、“商業施設”が抱える課題解決に挑戦。施設を訪問し、「客層」や「施設コンセプト」などについて調査を実施。また、同施設のクリスマスイベントに参加し、館内グリーンティングやタブレット端末を用いて来場者に消費行動や施設に関するアンケート、及びインタビュー調査を実施した。これらの調査結果を分析し、課題解決のための提案を行った。

連携先：BRANCH 神戸学園都市テナント会

日程：2024年10月～2025年1月

参加状況：13名（新雅史ゼミ 2年生）

・学生・西区連携まちづくり活動助成

概要：神戸市西区役所が提示するテーマに沿って取り組む活動で、協力団体と連携し、学生の自由で柔軟な発想による活動を応援する事業。昨年度に引き続き、本学から白ゼミが申請、採択された。今年度は、西区内の梨園・神戸三水園と連携。「#フードロスを減らそう」をテーマに“規格外”梨の利活用の検討、及びSNSなどを活用し、神戸市西区産の三水梨のプロモーション活動を実施。8月のオープンキャンパスでは、三水梨のPRおよび、規格外農産物やフードロスについて認知拡大のため来場者にパネル展示やクイズを実施。また、三水園の規格外梨を活用して【梨タルト】を三木山スイーツガーデン・フジキと共同で開発し、11月の学園祭・りゅうか祭で販売した。

連携先：神戸市西区・神戸三水園（農事組合法人高知第一生産組合）・三木山スイーツガーデン・フジキ

日程：2024年4月～2025年3月

参加状況：12名（白貞壬ゼミ 3年生）

・第15回関空発「学生と旅行会社でつくる」海外旅行企画コンテスト

概要：「関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問できる国や地域」への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募集するコンテストに今年度も山川ゼミが参加。一次審査を通過し、最終審査に進出した山川ゼミ2チーム（香港旅行企画提案チーム・韓国旅行企画提案チーム）は、それぞれ企画メンターとしてマッチングされた旅行会社の助言を受けつつ、データを調べ、また自ら実際に現地を体験しながら、販売可能な細部まで練り上げた旅行商品を作成。香港旅行企画提案チームが準グランプリ、韓国旅行企画提案チームが優秀賞をそれぞれ受賞。

・香港旅行企画提案チーム：準グランプリ

（テーマ）：「めんどくさがり屋さん必見！40時間で叶う ちょこっと！ついでに！1泊2日で香港行っちゃいな〜」

（企画メンター）：株式会社JTB

・韓国旅行企画提案チーム：優秀賞

（テーマ）：「美容男子になれる！2泊3日の変化旅 in ソウル」

（企画メンター）：株式会社エイチ・アイ・エス

連携先：一般社団法人日本旅行業協会（JATA）関西支部

日程：2024年4月～2024年7月

参加状況：5名（山川拓也ゼミ3年生）

・神戸の台所「東山商店街」を賑やかに!! 商店街と連携して夏祭り「夜市」を共創する

概要：昨年度、「神戸の台所」と称される東山商店街を舞台に、夏祭り『湊川夜市』への出店の企画・運営を本学【キャリアアップセミナー】を活用し実施。今年度は、【ゼミ活動】として長坂ゼミが参画。「スーパーボールすくい」と「射的」を出店し、夏祭りを盛り上げた。併せて、商店街の要望により、夜市開催時の混雑状況調査も実施。10か所を超える時点の調査を行い、課題を発見、それらに対する解決策も提案した。

連携先：東山商店街振興組合

日程：2024年4月～2024年11月

参加状況：15名（長坂泰之ゼミ3年生）

・須磨パティオがお客様にとって居心地の良い空間となる（主に運営面）ための社会共創活動

概要：現在、神戸市が進める『リノベーション・神戸』プロジェクト（まちの質・暮らしの質を一層高めることで都市ブランドの向上と誘引につなげる取組）のひとつである「名谷活性化プラン」の一環として計画している、ショッピングセンター【須磨パティオ】の大規模リニューアルにあたり、長坂ゼミがこれまで未実施だった「サービス面の改善・拡充につながる調査（インタビュー・アンケート）」を実施。調査票は学生が設計した。また、調査結果を分析し、サービス面の消費者ニーズを把握。リニューアル後に向けたサービスの提案を行った。

連携先：株式会社こうべ未来都市機構（須磨パティオ事業部）

日程：2024年4月～2024年11月

参加状況：15名（長坂泰之ゼミ3年生）

- ・高田まちなかビジョンを実効性あるものとするために（陸前高田市）

～持続的経営と土地の利活用に向けて～

概要：陸前高田市のまちなか地区の活性化のため、高田まちなか会と共同で、長坂ゼミは継続して活動を実施している。今年度は、陸前高田市のまちなかで持続的経営に向け、まちなかをターゲットとする市民（若者を含む）及び観光客（若者のカップルやグループを含む）のニーズを商業活性化の視点から改めて把握することが重要であるため、アンケート調査を実施。アンケートの設計、集計、調査結果を分析し、地域の復興及び地域の活気づけに向けた戦略を検討した。

連携先：高田まちなか会（事務局：陸前高田ほんまる株式会社）

日程：2024年6月～2025年2月

参加状況：15名（長坂泰之ゼミ 3年生）

- ・尼崎市内企業魅力発信事業

概要：尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティングの企画提案を行う事業で、2015年度より清水ゼミが毎年参画。2年生後期から3年生の前期まで半年にわたり取り組む活動。清水ゼミの3チームは、昨年11月から段ボール製品などの製造販売を行うトータルパック株式会社の協力のもと、「段ボールのフルカラー印刷技術を用いた新商品提案」の課題に取り組み、4月には、最終プレゼンを実施。各チームは企業の持つ技術や置かれた経営環境を把握し、ターゲットとなる組織や個人のニーズを分析したうえで、提案する新しい商品・サービスをよりイメージが伝わるよう試作品を作成し、プレゼンを実施した。

連携先：尼崎市経済環境局・トータルパック株式会社

日程：2024年4月

参加状況：12名（清水信年ゼミ 3年生）

- ・Student Innovation College (Sカレ 2024)

概要：マーケティングを学ぶ30大学37ゼミ506名の3年生による159チームがゼミ対抗で、12テーマの商品企画をFacebookで公開し「いいね！」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。『秋カン』（大会）でコンセプトを、また『冬カン』（大会）で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008年より後援団体としてSカレを支援しており、毎年、清水信年ゼミが参加。今回、清水ゼミの3チームが挑戦したテーマは以下のとおり。

【取組テーマ】

- ・「暮らしに役立つ便利商品」（スマイルキッズ株式会社）
- ・「デジタル化時代に必要な手帳」（伊藤手帳株式会社）
- ・「ドローンで新たな遊びを」（株式会社メルプ）

連携先：Sカレ委員会

日程：2024年5月～2024年12月

参加状況：全国30大学（大阪市立大学・大阪成蹊大学・岡山理科大学・小樽商科大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・駒澤大学・滋賀大学・専修大学・高崎経済大学・中京大学・同志社大学・名古屋市立大学・南山大学・日本大学・福岡大学・法政大学・武庫川女子大学・武蔵野大学・目白大学・桃山学院大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学（清水信年ゼミ 3年生11名）・和歌山大学）37ゼミ・506名

- ・サンテレビとの新商品開発プロジェクト

概要：2023年度からの継続企画。サンテレビのマスコットキャラクター「おっ！サン」を活用したサンテレビの新商品、【おっ！サン ヘアバンド】と【おっ！サン フレグランスタグ】を開発、7月に商品が完成した。学生が阪神甲子園駅前のショッピングセンター・コロワ甲子園の期間限定の『おっ！サンの店』で、販売活動に参加。特にヘアバンドは、限定店舗での販売が2位となり、完売となる大ヒット商品となった。また、11月7日（木）に放送されたサンテレビ『NEWS×情報キャッチ+』に出演し、開発商品のPRを実施した。

連携先：株式会社サンテレビジョン

日程：2024年4月～2025年1月

参加状況：16名（岡田恵実ゼミ 3年生）

- ・マイプロジェクト in 長田

概要：神戸市長田区をフィールドに、学生ひとりひとりの中にある「自分がやりたいこと・やってみたいこと」（マイプロジェクト）で、かつ、地域にも喜ばれることを、地域の人たちと対話をしながらマッチングし企画・運営を実施、地域活性化や地域交流創出につなげていくプロジェクト。具体的には、長田区役所主催の高取山スタンプハイクのなかで高取山の歴史あるコンテンツである投輪場の認知度向上のため輪投げイベントを企画。また、長田の日本語学校に通う留学生を対象に日本語カフェイベントを開催。ゲームを通じて正しい日本語を正しく使う機会を提供。いずれのイベントも好評を博した。

連携先：一般社団法人みくもや、Sooo Good ながた、長田区役所

日程：2024年4月～2025年3月

参加状況：16名（岡田恵実ゼミ 3年生）

- ・日本全国ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト

概要：昨年度に引き続き、障害者がマリンスポーツを楽しむことのできる『ユニバーサルビーチ』の活性化に向けた介入・参加者調査を実施。今年度は須磨や明石をはじめ、大分、富山など日本全国のユニバーサルビーチ化活動に参画。また、参加者へのアンケート調査結果については、10月に開催された『日本生涯スポーツ学会第26回大会』においてポスター発表を実施。

連携先：NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程：2024年6月～2025年3月

参加状況：14名（青山将己講師指導 3年生ゼミ・【個人エントリー】人間社会学部2年生）

- ・家島活性化プロジェクト

概要：昨年度からの辻本ゼミの継続企画。過疎化が進み、人口減少や空き家の増加が問題となっている兵庫県家島の活性化に取り組むプロジェクト。「家島の魅力発信を兼ねたセミナーハウス」をコンセプトに、空き家の改修作業を実施。次年度も引き続き、改修作業、及び改修後のルールを策定予定。

連携先：いえしまコンシェルジュ

日程：2024年4月～2025年3月

参加状況：11名（辻本乃理子ゼミ 2年生・3年生・4年生）

- ・三宮 OPA との SDGs イベントの実施

概要：三宮 OPA と OPA2 で開催された『SDGs WEEK』（9月21日（土）～9月29日（日））に本学から竹内ゼミが参画。このイベントは地域の若い世代とともに SDGs を身近に感じてもらうきっかけづくりや、地域未来の貢献への思いから、三宮 OPA が 4 大学（本学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、兵庫県立大学）と共創し、実施。各大学は、「五感で感じる・楽しむ・学ぶ SDGs」をテーマにイベントを実施。竹内ゼミは、簡単なすごろくゲームを通して楽しく遊びながら SDGs を学ぶ『ゲーム体験会』と SDGs を知る 『展示会』を行った。

連携先：株式会社 OPA

日程：2024 年 6 月～2024 年 10 月

参加状況：8 名（竹内信行ゼミ 2 年生・3 年生）

- ・流通科学大学 前川ゼミと神戸物産 連携プログラム

概要：神戸物産が展開する業務スーパーで販売する新商品を企画し、物流費用なども加味しながら、店舗で販売する適正な売価の設定をする取組。各グループは情報収集や店舗、及びアンケート調査を実施。資料や証拠に基づいて根拠を積み上げ、“実現性”や“業務スーパーらしさ”に重点をおいた提案を行った。

連携先：株式会社神戸物産

日程：2024 年 6 月～2024 年 10 月

参加状況：12 名（前川明ゼミ 3 年生）

- ・放課後等デイサービス事業所での子ども支援における実践とプログラムの開発

概要：OMOIYARI PLUS ONE の運営する放課後等デイサービス事業所において、子どもたち（発達障がい児）をサポートしていくための支援プログラムを学生の視点から考え、事業所での子ども支援の実践に活かせるようにインターン実習を通して練り上げ、より有効と考えられる支援プログラムを開発、提案を行った。

連携先：株式会社 OMOIYARI PLUS ONE

日程：2024 年 6 月～2025 年 3 月

参加状況：15 名（岩崎久志ゼミ 3 年生）

- ・稲美町魅力発信事業

概要：2023 年度に引き続き、兵庫県稲美町へのふるさと納税の推進と町内産業の活性化を図るため、稲美町ふるさと納税返礼品協力企業を取材し、PR を実施。今年度は、【有美ちゃんの養蜂場】と【前原ぶどう園】を取材。そのインタビューをもとにふるさと納税返礼品と企業の魅力をまとめた学生たちの紹介レポートは稲美町のホームページに掲載され、稲美町のふるさと納税の検討に役立てられた。

連携先：稲美町

日程：2024 年 4 月～2025 年 3 月

参加状況：15 名（秦洋二ゼミ 3 年生）

- ・レッドハリケーンズ大阪観戦者調査プロジェクト

概要：ジャパンラグビー リーグワンに所属するレッドハリケーンズ大阪と連携協定を締結した 2022 年度からの山口ゼミとの継続企画。レッドハリケーンズ大阪のマーケティング分析をサポートするため、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的にスタジアムでの「来場者満足度向上に向けたアンケート」調査を毎年実施。

【3 年生ゼミ】

2024 年 3 月にスタジアムでの現地調査を実施。収集したデータを分析し、レッドハリケーンズ大阪に対し、報告書の作成、及び報告会を実施。また、報告会でのアドバイスや提案を踏まえデータを再分析し、10 月に本学で開催された『日本生涯スポーツ学会第 26 回大会』でポスター発表を行った。

・日程：2024 年 4 月～2024 年 10 月

【2 年生ゼミ】

2024 年 12 月からプロジェクトがスタート。スタジアムでのアンケート調査に向け、質問項目案を検討し、アンケートを設計。3 月 15 日のホームゲームで、アンケート調査を実施した。

・日程：2024 年 12 月～2025 年 3 月

連携先：レッドハリケーンズ大阪

参加状況：28 名（山口志郎ゼミ 2 年生・3 年生）

- ・BRANCH×流通科学大学「いい夫婦の日」結婚式プロデュース

概要：11 月 23 日（土）に BRANCH 神戸学園都市の森の広場、及びカップヤキッチンにおいて、公募カップルのバウ・リニューアルセレモニーとサンクスパーティーを学生がプロデュース。式の進行・演出案の作成、会場装飾をはじめ、当日の司会やヘアメイク、音響まで学生が担当し、挙式・披露宴の運営を実施。

連携先：BRANCH 神戸学園都市

日程：2024 年 10 月～2024 年 12 月

参加状況：17 名（道前美佐緒ゼミ 2 年生）

- ・小野市特産品認知拡大プロジェクト

概要：【小野うまいもんブランド】として認証されている小野市の特産品の認知拡大のための取り組みを西村ゼミが実施。【小野うまいもんブランド】認定事業者を訪問し、地域の農業や観光の魅力について理解を深め、特産品についても情報を収集。【小野うまいもんブランド】の認知度向上や PR 方法、及び生産過多によるロスや規格外品の廃棄などの課題について、検討し、学生目線から解決策を提案した。本学の学園祭・りゅうか祭では『小野マルシェ』と題した模擬店を出店し、小野市特産品を紹介、PR 活動を実施。また、小野市産のトマトを使った新たな特産品（「お米でつくった丸パン」と「とまと甘酒」）を開発。「とまと甘酒」は『第 11 回小野ハーフマラソン 2024』（12 月 8 日（日）開催）や JR 大阪駅直結のショッピングセンター『KITTE 大阪』（3 月 22 日（土））において学生自ら試食・販売活動を行った。

連携先：小野市

日程：2024 年 6 月～2025 年 3 月

参加状況：13 名（西村典芳ゼミ 3 年生）

・シンコー食産共同開発商品の販売促進企画立案

概要：2023 年度に手づくりキャラメルスイーツを製造・販売しているシンコー食産と連携し、共同開発した商品 2 点（「サクッとパスタ（バター醤油味）」・「きゃらふれ（クランベリー味）」）の販売促進を企画立案し、以下の店舗で学生自ら試食・販売活動を実施。

- ・ AKOYAME TOKYO 阪急西宮ガーデンズ：4 月 19 日（金）・20 日（土）
- ・ 千里阪急『千里マルシェ』ブース出店：1 月 18 日（土）
- ・ 宝塚阪急：1 月 25 日（土）

また学内の【ローソン流科大実習店】においても『学生コラボ商品コーナー』を設置し、2 商品販売。販売促進のため、商品陳列、キャッチコピーの考案、ポップ作成に携わった。

連携先：シンコー食産株式会社

日程：2024 年 6 月～2025 年 3 月

参加状況：10 名（後藤こず恵ゼミ 2 年生・3 年生）

・ AKOMEYA TOKYO オリジナル商品（米菓子）の商品開発

概要：昨年度からの後藤ゼミの連携先であるシンコー食産の技術を活かし、AKOMEYA TOKYO の新商品（米菓子）の開発を実施。米は、環境に配慮した農法を取り入れている神戸の農家・ナチュラルリズムファームのものを使用。AKOMEYA TOKYO の店舗を見学し、商品の陳列、値段設定、客層等の市場調査を実施。また、シンコー食産の工場や農家も見学しながら、コンセプトや新商品の企画を検討し、有機米の風味を生かした【ノンフライおこめスナック（「伊勢海老味」・「焼きあご味」の 2 種類のフレーバー）】を開発した。開発商品は、幕張メッセで開催された【スーパーマーケット・トレードショー2025】（2 月 12 日（水）～14 日（金））において、展示、及び試食品として提供された。今後、関西 5 店舗とオンラインショップにおいて販売される予定。

連携先：株式会社 AKOMEYA TOKYO、シンコー食産株式会社、ナチュラルリズムファーム

日程：2024 年 6 月～2025 年 3 月

参加状況：23 名（後藤こず恵ゼミ 2 年生・3 年生）

・多可町商工会との社会連携企画

概要：地方から都会に出ていく若者が多いなか、「町外に出た若者の U ターン」及び「町外からの若者の移住」促進のため、データの分析や現地調査を通して多可町の魅力や問題点を抽出しながら「住みたい町とはどんな町か？」という視点で考え、提案を実施。

連携先：多可町商工会

日程：2024 年 10 月～2025 年 1 月

参加状況：3 名（上瀧真生ゼミ 3 年生）

・コトバスグループとの交流・関係人口創出ツアー開発プロジェクト（2024 秋）

概要：琴平バス株式会社を中核とするコトバスグループとの協働により、大阪・神戸ー琴平高速バスの認知度と乗車率の向上を目的に、学生がバスツアー商品の企画から運営までを実施するプロジェクト。バスツアーを企画する過程で、学生は定期的に現地を訪問し調査を実施。学生自身が【関係人口】となって琴平町と関わることで地域創生への学びを深めることができた。

連携先：コトバスグループ

日程：2024 年 7 月～2024 年 11 月

参加状況：2 名（山川拓也ゼミ 3 年生）

・セキスイ壘「MIGUSA」の新用途展開や販売プロモーション提案

積水成型工業×流通科学大学 前川ゼミ×武庫川女子大学 井口ゼミ 連携プロジェクト

概要：学生視点の若い感性で、セキスイ壘「MIGUSA」の素材を使用した製品やサービスを開発するプロジェクト。武庫川女子大学のゼミと共同実施。次年度も引き続き、実施予定。

連携先：積水成型工業株式会社

日程：2024年12月～2025年3月

参加状況：12名（前川明ゼミ 2年生）

・(株)宿場 JAPAN に対する神戸市灘区の CBT 計画の提案

概要：CBT (Community Based Tourism) の観点から、神戸市灘区水道筋商店街・灘中央市場界隈にある地域生活資源 (=非観光施設) が潜在的に有している観光施設としての利用可能性を認識し、非観光地であるローカルな日常生活区域内での持続可能性に配慮した観光マーケティング戦略としての「新しいタイプの観光施設の創造的計画」と「新しいタイプの観光施設を媒介とした観光としての人的交流の創出」に資する提案を学生らしい視点・マーケティング手法を活用し実施。

連携先：株式会社宿場 JAPAN

日程：2024年9月～2025年1月

参加状況：16名（山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス 2年生・3年生・4年生）

・P-COM

概要：大学と企業（(株) PLANA、(株) 産直、(株) フィゴ）が連携し、マーケティングの企画 (Plan)・発表 (Presentation)・実践 (Practice) を通じて総合的な学びを得ることを目的としたマーケティング企画大会に藪野ゼミが参画。今年度のテーマは「バズリの科学」。藪野ゼミは2チームに分かれ、「咲氷蟹」と「甘味セット」のプロモーションを Instagram を用いて実施。いかにしてインプレッション、リアクション、そしてオンラインショップへ流入させるか、またいかにしてその場で成約させるかを検討した。

連携先：P-COM 運営事務局

日程：2024年9月～2025年2月

参加状況：10名（藪野翔太ゼミ 2年生）

・マスターズ甲子園 大会プロモーション推進事業

概要：昨年に引き続き、【マスターズ甲子園】（全国の高校野球 OB・OG が、出身校別にチームを組んで出場する大会）の運営委員として青山ゼミの学生が大会の企画・運営を実施。大会当日は、開会式・閉会式の運営、選手インタビュー、撮影・メディアなどを担当した。また、大会公式 X（旧 Twitter）のアカウントを受託し、プロモーション活動を実施。大会後も継続して公式 X を運用し、インフルエンサー効果（フォロワー数、インプレッション）の最大化に向けた戦略の検討、ならびに効果検証を行った。

連携先：マスターズ甲子園大会事務局

日程：2024年10月～2025年3月

参加状況：21名（青山将己ゼミ 2年生・3年生）

- ・レッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践

概要：連携協定を締結しているレッドハリケーンズ大阪との連携活動を 2023 年度から『健康サービス企画運営演習』の授業においても導入。授業では、レッドハリケーンズ大阪における“集客増”に向け、具体的な実践を実施。今年度は、「ラグビーアクティビティエリアでの“集客拡大”“来場者満足度向上”に向けた企画の立案・実行」と「SNS を活用した“集客拡大”に向けた企画の立案・実行」をテーマに企画を検討。12 月 22 日（日）ヤンマースタジアムでの開幕戦で、学生自らが考えた企画を実践した。

連携先：レッドハリケーンズ大阪

日程：2024 年 9 月～2025 年 1 月

参加状況：23 名（山口志郎教授、青山将己講師指導『健康サービス企画運営演習』クラス 3 年生）

- ・猪名川町ワインプロジェクト

概要：猪名川町のぶどう農家が栽培するぶどうを活かし、加工品や特産品を充実させ、町の活性化につなげていくプロジェクトで、2023 年度からの西村ゼミの取組。昨年度は、長雨や獣害によりぶどうが全滅し、ワインの試作を断念したが、今年度は少量ながらも無事に収穫することができた。猪名川町産のデラウェアとシャインマスカットのミックスワインをフジマル醸造所で醸造。ゼミ生は“猪名川ワイン”のラベルデザインを検討した。

連携先：猪名川町、島之内フジマル醸造所、AWAJISHIMA WINERY COMPLEX

日程：2024 年 10 月～2025 年 1 月

参加状況：9 名（西村典芳ゼミ 2 年生）

- ・カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成（平野商店街 KIKKAKE）

概要：神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている【シェアカフェ KIKKAKE PLACE】を活用し飲食店経営に挑戦。出店体験を通じて社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで地域貢献を目指すプロジェクト。2022 年度からの長坂ゼミの取組みで、今回で 4 回目。出店計画、周辺調査・分析、メニュー考案、試作、仕込みから営業まで、すべて学生が主体的に実施。今回は 2 チームに分かれ、フレンチトーストをメインとする飲食店『HUWA HUWA』と、ハンバーガーをメインとする『full cafe』を運営した。

連携先：神戸平野商店街 KIKKAKE

日程：2024 年 10 月～2025 年 3 月

参加状況：14 名（長坂泰之ゼミ 2 年生）

- ・使用済企業ユニフォームを「リビルド」した新製品アイデア提案

概要：一定期間使用後は廃棄処分される企業ユニフォームを「リビルド（再利用・燃やさないリサイクル）」し、できた反毛やプラスチックを混ぜた樹脂ペレットを活用した環境に配慮した新製品（「服から服にはしない」「何らかの形で広義の環境に役に立つ」もの）のアイデアを検討、商品化を目指すプロジェクト。調査や企業視察を通して、廃棄衣類の現状やリサイクル技術、素材となる反毛の特性などについて理解を深め、環境に役立つ製品アイデアを大学生の新鮮な目線で提案した。

連携先：株式会社 Problem Solving、株式会社リビルドット

日程：2024 年 10 月～2025 年 3 月

参加状況：15 名（岡田恵実ゼミ 2 年生）

・ ヴィクトリーナ姫路×大学コンソーシアムひょうご神戸「スポーツビジネスコンテスト 2024」

概要：ヴィクトリーナ姫路（バレーボールV2リーグ女子に所属するプロバレーボールチーム）をワールドに事業課題の解決策を企画立案、さらにそれを実践・効果検証をし、真のスポーツビジネスを学ぶコンテスト。昨年度に引き続き山口ゼミから2チーム（【集客チーム】と【地域課題チーム】）が参画。【集客チーム】は、肌年齢測定&選手を知ってもらおうクイズなどのイベント企画を実施。【地域課題チーム】は、姫路駅前のみゆき通り商店街での「商店街宝探し」を企画・実践。また、人間社会学部の学生1名が個人でエントリーし、【大学混成チーム】の一員として参加。アプリの登録者数増加に取り組み、「オリジナルグッズ抽選会」と「モザイクアート」を企画・実践した。各チームは効果を検証し、1月の実践報告会において、約4か月間にわたる取り組みの効果検証結果を発表。【大学混成チーム】が優秀賞を受賞した。

連携先：ヴィクトリーナ姫路（株式会社姫路ヴィクトリーナ）、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、株式会社立成社

日程：2024年9月～2025年1月

参加状況：14名（山口志郎ゼミ 3年生）

・ プロラグビー選手のスポーツパフォーマンス能力と勝負!! プロラグビー選手 vs. あなた

概要：昨年度に引き続き、今年度もプロラグビー選手のスポーツパフォーマンスを身近に感じていただくことを目的に、プロラグビー選手とラグビー観戦者の体力を比較するイベントを企画。ホームゲーム当日、イベントブースに体力測定場所を設置し、観戦者に体力測定（握力、長座体前屈、反応時間、立ち幅跳び、ラグビーボールの投球スピード）を行い、プロラグビー選手との比較を行うイベント運営を実施した。

連携先：レッドハリケーンズ大阪

日程：2024年12月～2025年2月

参加状況：23名（関和俊ゼミ 2年生、山本隼年ゼミ 2年生）

・ アパレル新製品企画プロジェクト

概要：カフカ株式会社（名古屋中小企業投資育成株式会社）と連携し「Z世代のためのアパレルグッズ」をテーマに新製品の企画提案を実施するプロジェクト。中京大学のゼミと共同実施。このプロジェクトを通して、新製品の企画提案のみならず、これまで培ってきた学術的な知識を用いながらも、企業での実務とのギャップを体感してもらい、そのギャップをどのように乗り越えていくかも検討する。次年度も継続して活動予定。

連携先：カフカ株式会社

日程：2025年3月

参加状況：10名（藪野翔太ゼミ 2年生）

- ・流通科学大学と神戸ストークスの包括連携プロジェクト（ホーム&アウェイ観光モデルツアー）

概要：2023 年度より男子プロバスケットボールチーム・神戸ストークスと観光振興・地域経済活性化に関する包括連携協定を締結し、金ゼミが連携活動を実施している。今年度は、神戸ストークスが抱えるスポーツによる地域課題解決や地域活性化に関する課題の改善策として、『ホーム&アウェイ観光モデル』を提案した。これは、スポーツと地域資源を戦略的に活用することで“地域活性化”を目指すもの。学生たちは神戸ストークスの選手に神戸のお薦めグルメや観光スポットに関するアンケート調査を実施。アンケート結果をもとに、神戸で回遊性を高め、滞在時間を延ばす「1泊2日の神戸観光モデル」を企画した。また、チラシを作成し、12月14日（土）・15日（日）のホームゲームで来場者に配布したり、ハーフタイムにはコートで企画を紹介したり、告知活動を行った。

連携先：神戸ストークス

日程：2024 年 10 月～2025 年 1 月

参加状況：14 名（金承珠ゼミ 2 年生・3 年生）

- ・平野商店街の個店の魅力の情報発信を通じた地域貢献（平野商店街振興組合）

概要：商店街のイメージアップ、及び各店舗の魅力向上に寄与することを目的に、平野商店街と連携し、店の顔である店主、店員にスポットをあて、中小小売店のマーケティング 4P の視点から、店主、店員の魅力を取材・情報発信するプロジェクト。今年度は、商店街のリーダーとの情報交換、及び取材する店舗を決定。2025 年度は引き続き、店主や店員の魅力をゼミ生が取材し、情報発信する予定。

連携先：平野商店街振興組合

日程：2024 年 12 月～2025 年 3 月

参加状況：14 名（長坂泰之ゼミ 2 年生）

- ・Ryuka Innovation Team (RIT)

概要：学年や学部に関係なく、商品開発などの社会共創プログラムに興味があるメンバーで構成されるサークルで、商品開発、売り場展開やプロモーションまでを含めた総合的なマーケティング課題に取り組む。2024 年度は、旨辛工房 ぜんと連携し、商品開発を実施。旨辛の青唐辛子みそを兵庫県の隠れた食材を使用したご当地みそとして商品を企画。商品化に向け、2025 年度も継続して活動予定。

連携先：旨辛工房 ぜん

日程：2024 年 4 月～2025 年 3 月

参加状況：3 名（1～3 年生）

④地域交流・連携 活動一覧 (2024 年度)

・トライやる・ウィーク

概要：近隣の中学校の 2 年生に 5 日間 (9:00~15:00)、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程：2024 年 11 月 11 日 (月) ~2024 年 11 月 15 日 (金)

受入状況：4 名 (太山寺中学校、桃山台中学校)

・インターンシップ (兵庫県立相生産業高等学校)

概要：キャリア形成を目的として 2 年生に 4 日間 (10:00~15:00)、本学の様々な部署の仕事の体験と見学を実施。

日程：2024 年 10 月 15 日 (火) ~10 月 18 日 (金)

受入状況：3 名 (商業科：2 名、機械科：1 名)

・高大連携

概要：近隣の高校と連携した探究活動や授業支援活動。

明石商業高等学校 2 件

りゅうか祭での明石たこランチ 出店

I-1 グランプリへの参画

・高校生との交流

概要：近隣の高校に協力し、本学留学生と高校生との国際交流企画。

須磨東高等学校 1 件 (12/20)

須磨友が丘高等学校 3 件 (6/12, 10/9, 11/20)

長田高等学校 5 件 (1/31, 2/4, 2/5, 2/6, 2/10)